

令和2年度 第1回能代山本定住自立圏共生ビジョン懇談会の概要

○日 時 令和2年9月15日(火) 午前10時～11時10分

○場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

○案 件

(1) 次期共生ビジョンの策定及びスケジュールについて

※委員からの意見等なし

(2) 次期共生ビジョンのたたき台について

分野	意見	対応
圏域の将来像	高齢化率について、社人研の推計では58.2%となっているが、将来像にある令和27年の目標は43.2%となっており、目標達成は厳しいのではないかと。	目標値は各市町の人口ビジョンの推計から算出している。各市町で総合戦略の取組を推進した上での推計となっている。
医療	コロナウイルス感染症の影響でこれまでのような総合的な健診ができなくなっている。目標どおりにはいかないと思う。	各市町のコロナウイルス感染症対策との整合性を図った上で目標を設定する。
福祉	母親学級について、市では実施しているが町ではやっていない。能代山本を対象として母親学級を実施してほしい。	各市町の子育ての考え方があるので、検討会で話し合いたい。
産業振興	コロナ収束後を見据えて、国はインバウンドに注力することとしている。この地域にどのようにお金を落としてもらうか、インバウンドに対応した視点が必要である。	インバウンドの受け入れの充実を図るためには玄関口の整備が必要である。例えば能代港のクルーズ船寄港も全県レベルで動いており、DMOでもキャンペーンを行っている。各市町の観光政策の考え方を踏まえ、取り組めるものが出てきたらビジョンへの反映を検討する。
産業振興	この地域の労働者の9割が第2次、第3次産業に従事しているが、商工業関係の振興がビジョンに位置付けられていない。	協定項目の追加には各市町の議決が必要。ビジョンへの掲載がなくとも各市町で取り組んでいるところだが、圏域で連携して取り組めるものが出来たら、ビジョンへの反映を検討する。

分野	意見	対応
産業振興 地域公共交通	農作業の人出が欲しい人と仕事が欲しい人のマッチングが行われているが、まだ足りていない。今は外国人労働者が入ってこないが、外国人が来ると大きな労働力になる。去年、外国人のノマドワーカー（ノートパソコン等を使い、Wi-Fi 環境がある喫茶店など、オフィス以外で仕事をする人）が三種町に3か月滞在したが、彼らが不便に感じたのは交通面。公共交通の環境整備が必要。	公共交通について、三種町では町民バスが好評で、能代市ではデマンドタクシーの実証実験を行っている。コロナウイルス感染症の影響で利用者が減っており、交通事業者は厳しい状況にあるので、そうした動向も踏まえて検討する。
移住促進	移住支援金の事業は、東京圏からの移住に対する支援となっているが、関西や中京圏からの移住者（例：岐阜県大垣市）もいるため広く考えてほしい。	国が東京圏からの移住に補助金を出すという制度のためこのように表現している。各市町では、東京圏以外からの移住に対する支援も実施しており、関連する事業でビジョンに位置付けるものがあれば検討する。
移住促進 通信環境	通信インフラが整備され、リモートで仕事ができるようになれば、能代山本から都会に出た人が戻ってくるのではないかな。	通信インフラの整備も課題である。国でも5G、DX（デジタルトランスフォーメーション）の動きがある。首都圏の人が地方をどう見ているのかを把握し、圏域で連携すべき事業があればビジョンへの反映を検討する。
通信環境	リモートワークをするうえで通信環境は大事。ビジョンにWi-Fi整備などICT環境の整備もあればいい。	各市町でICT環境整備に取り組んでいるが、連携すべき事業があればビジョンへの反映を検討する。